



じんごしきんぞう  
神護寺三像

綴プロジェクト作品

伝 藤原隆信 筆

寄贈先：高野山真言宗遺迹本山 高雄山 神護寺 原本所蔵：高野山真言宗遺迹本山 高雄山 神護寺



### ゆるぎない存在感を放つ三像。

左から、源頼朝、平重盛、藤原光能の肖像画と伝えられ「神護寺三像」と呼ばれる。日本を代表する肖像画であり、一九五一年に国宝に指定された。継ぎ目のない大きな一枚の絹に描かれた人物は、ほぼ等身大に表され、面の至るところまで繊細で、とても写実的に描写されている。「神護寺略記」には、肖像画の配置が記され、中央に後白河法皇、左に源頼朝、右に平重盛、そして、下座に平業房と藤原光能が、それぞれの視線を法皇に向けて配置されていたとある。このうち、法皇像は、室町時代の写しのみ、平業房像は、現存していない。

源頼朝像と平重盛像は、京都国立博物館、藤原光能像は、東京国立博物館に寄託されており、三像の原本は、別々の場所で保管されています。綴プロジェクトは、三像の高精細複製品を制作し、原本の所蔵元である神護寺に寄贈。綴プロジェクトによって、「神護寺三像」がすべて揃って見られる日も遠くないかもしれません。  
日本の美を、人へ、未来へ、伝えていく。

日本の美を継承していくために

Vol.10

綴プロジェクト作品(高精細複製品)

◆国宝◆

『神護寺三像』 伝藤原隆信 筆

綴TSUZURI  
文化財未来継承プロジェクト

「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの文化財の保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。海外に渡った文化財を高精細複製品として、日本に「里帰り」させているほか、綴プロジェクトで制作した作品37作品は、寄贈先の美術館や寺院などでの一般公開や、歴史教育の現場で生きた教材として、日本の優れた文化や芸術に、より身近に接する機会を提供しています。



詳細は、公式サイト  
でご覧いただけます。  
[global.canon/ja/tsuzuri](http://global.canon/ja/tsuzuri)

#### 公開情報

十月六日(土)～十月八日(月)まで  
綴プロジェクト作品「神護寺三像(幅のみ)」  
が神護寺金堂にて公開されます。

Canon